

第63期 中間報告書

平成19年4月1日から平成19年9月30日まで



Customer
Development



サンメッセ株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第63期上半期(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)の中間決算を行いましたので、ここに営業の概況をご報告申し上げます。

平成19年12月



代表取締役会長

田中良孝



代表取締役社長

田中勝英

CONTENTS

株主の皆様へ	1
営業の概況	2
業績の推移	3
製品部門別の概況	4
財務の状況	
中間貸借対照表	5
中間損益計算書	6
中間株主資本等変動計算書	6
中間キャッシュ・フロー計算書	6

Sun Messe News	7
株式の情報	9
会社の概況	10
株主メモ	10



積極的な営業展開と現場力を高めて、更なる生産効率の向上に努めます。

売上高	68億88百万円	(前中間期比 1.0%減)
営業損失	91百万円	(前中間期比 -)
経常損失	24百万円	(前中間期比 -)
中間純利益	1億 9百万円	(前中間期比 43.5%減)

当中間期におけるわが国経済は、企業業績の回復を背景に輸出や設備投資の増加が見られるなど、景気は緩やかな拡大基調を維持しましたが、個人消費は、原油高の高騰、社会保障費の負担増加等、依然として不安定な状況下で推移しており、力強さに欠ける状況でありました。

印刷業界におきましては、受注競争の激化に伴う受注単価の下落に加え、原材料価格の上昇等により依然として厳しい経営環境が続いております。

当社は、このような経営環境のなかで「責任製品で『顧客開発の年』」を会社の年度方針として、7月には京都市に京都営業所を開設するなど、深耕営業、新規開拓営業を推進いたしました。また、8月には、中工場のブリプレス部門と工程管理部門を本社工場に統合し、更なる原価低減と生産効率の向上に努めております。

売上の部門別では、当社の主力分野である一般商業印刷物は、前中間期を若干上回り51億68百万円(前中間期比100.7%)、出版印刷物は、大口取引先の印刷物が大幅に減少したことなどにより前中間期を大きく下回り10億94百万円(前中間期比89.1%)、包装印刷物は6億25百万円(前中間期比105.6%)となりました。

利益面におきましては、原価低減と生産効率の向上に努めましたが、売上高の減少と売上総利益率が大きく下がったことにより営業損失、経常損失となりました。また、保有資産の効率化及び財務体質の強化を図るため投資有価証券の一部を売却し、投資有価証券売却益が発生しましたが、中間純利益は減益となりました。

以上の結果、売上高は68億88百万円と前中間期に比べ66百万円の減収となりました。利益面におきましては、営業損失が91百万円と前中間期に比べ3億84百万円の減益となり、経常損失が24百万円と前中間期に比べ3億82百万円の減益となりました。また、中間純利益は1億9百万円と前中間期に比べ84百万円の減益となりました。

なお、当中間期の配当金につきましては、11月14日開催の取締役会におきまして、1株当たり3円と決めさせていただきました。

当期の見通しにつきましては、国内経済は概ね堅調に推移することが予想される一方で、米国経済の停滞懸念や原油価格の高騰の影響など、先行きに対する不安要素も存在しております。

印刷業界におきましても、メディアの多様化に加え、価格競争の激化、原材料費の値上りなどにより依然として厳しい経営環境が続くものと考えております。

このような環境下で、当社といたしましては7月に開設した京都営業所を一日も早く業績に寄与できるよう軌道に乗せ、積極的に営業活動を展開することと、現場力を高めて更なる生産効率の向上に努力いたします。また、当社は10月16日付でFSC森林認証制度のCOC認証を取得し、ISO14001認証に加え皆様へ供給する製品そのものに関しても、環境への配慮と改善に努力してまいります。

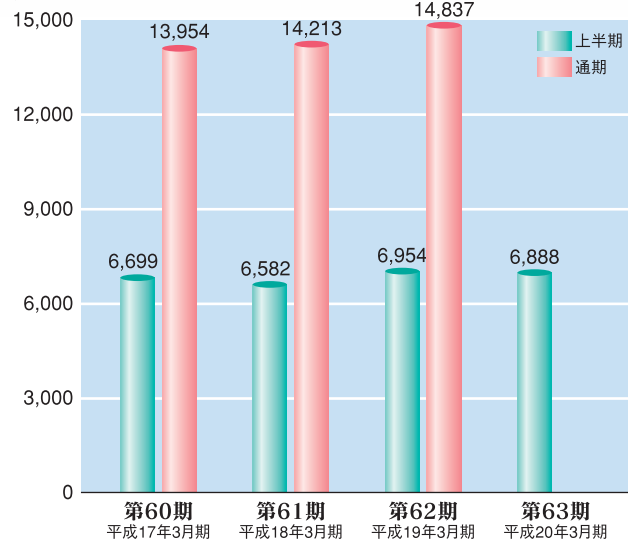
株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



Transition 業績の推移

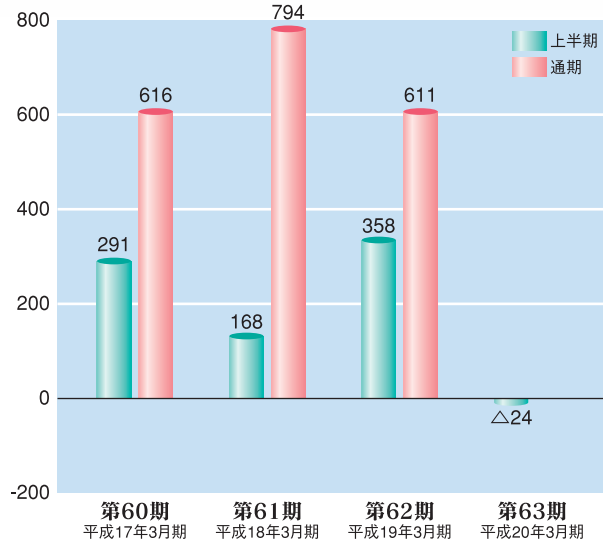
売上高

(単位／百万円)



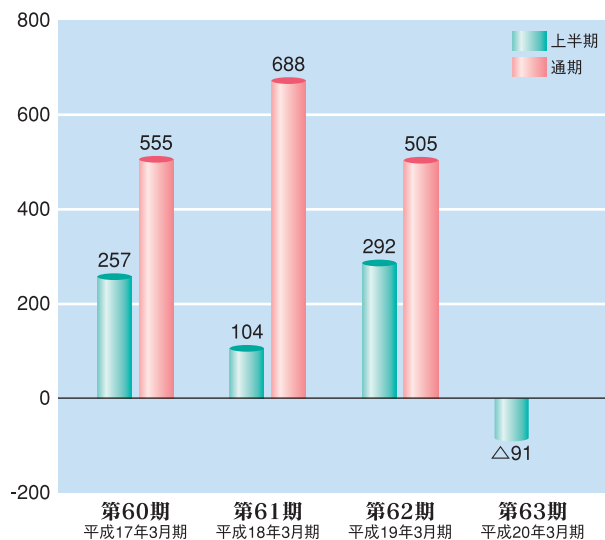
経常利益

(単位／百万円)



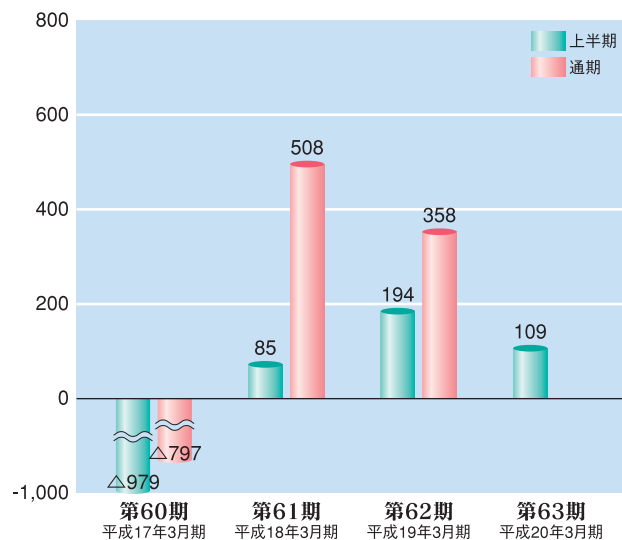
営業利益

(単位／百万円)



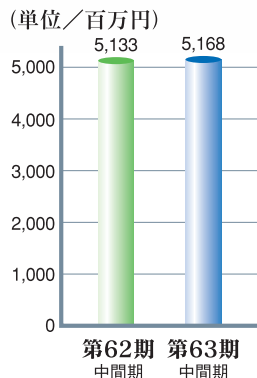
当期純利益

(単位／百万円)



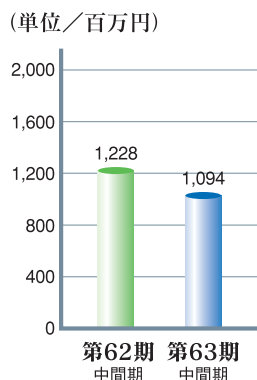
商業印刷

商業印刷物は、景気回復を反映し広告宣伝活動の需要が拡大しました。このような中で、当社は的確な企画提案と生産設備を活かした販売促進活動を積極的に展開しました。その結果、カタログ・ダイレクトメールは減少したものの、折込広告、定期刊行物などが堅調に推移し、売上は前中間期を上回りました。



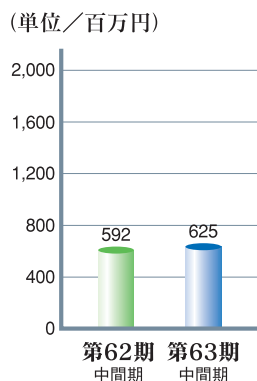
出版印刷

出版印刷物は、情報メディアの多様化、読書離れなどにより、雑誌、書籍など出版市場が低迷し、引き続き厳しい状況が続きました。このような中で、当社は得意先のニーズに合わせた企画提案、新規顧客の開拓に努めましたが、取扱説明書等の頁物が減少し、売上は前中間期を下回りました。

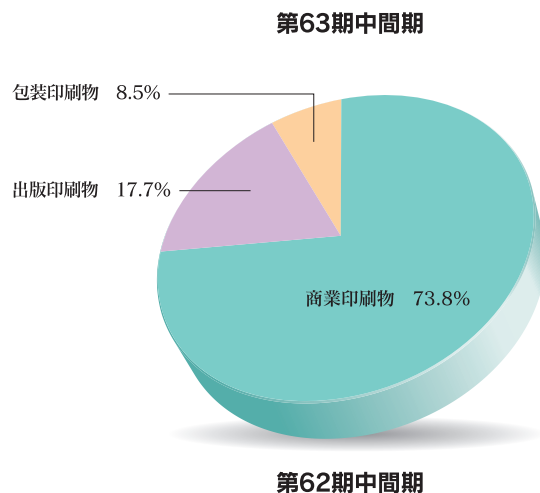
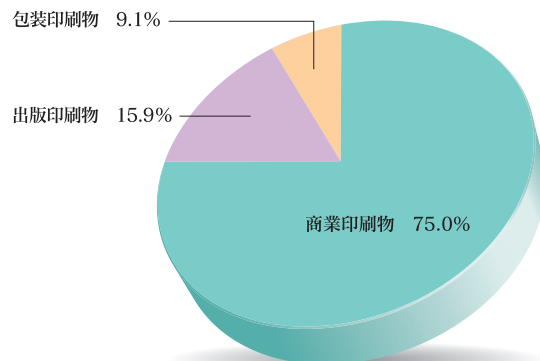


包装印刷

包装印刷物は、環境問題の影響から軽量化、省包装化が進んでいるものの、企業業績の回復により需要の回復もみられました。このような中で、当社は得意先や製品に合わせたきめ細かい営業活動を行い、パッケージ、包装紙・袋物など全般に増加し、売上は前中間期を上回りました。



売上高構成比





Report 財務の状況

中間貸借対照表

(単位／百万円)

科 目	第63期中間期 (平成19年9月30日現在)	第62期中間期 (平成18年9月30日現在)
資 産 の 部		
流 動 資 産	4,942	5,951
現金及び預金	800	1,533
受取手形	1,071	1,226
売掛金	2,162	2,288
有価証券	99	—
たな卸資産	565	649
繰延税金資産	190	222
その他	66	67
貸倒引当金	△ 13	△ 37
固 定 資 産	13,677	12,776
有形固定資産	9,632	8,844
建物	2,665	2,185
機械及び装置	2,903	2,299
土地	3,845	3,846
その他	218	513
無形固定資産	49	49
投資その他の資産	3,995	3,882
投資有価証券	3,650	3,539
繰延税金資産	125	130
その他	285	297
貸倒引当金	△ 65	△ 83
資 産 合 計	18,619	18,728

科 目	第63期中間期 (平成19年9月30日現在)	第62期中間期 (平成18年9月30日現在)
負 債 の 部		
流 動 負 債	4,997	5,365
支払手形	346	333
買掛金	1,341	1,319
短期借入金	2,110	1,810
一年内償還社債	—	600
一年内返済長期借入金	100	50
未払法人税等	90	197
賞与引当金	365	419
その他	645	637
固 定 負 債	2,013	1,962
長期借入金	50	100
退職給付引当金	1,700	1,601
役員退職慰労引当金	247	248
その他	15	12
負 債 合 計	7,011	7,328
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	10,505	10,351
資本金	1,236	1,236
資本剰余金	1,049	1,049
利益剰余金	8,624	8,470
自己株式	△ 405	△ 404
評価・換算差額等	1,103	1,048
純 資 産 合 計	11,608	11,400
負債・純資産合計	18,619	18,728

中間損益計算書

(単位／百万円)

科 目	第63期中間期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	第62期中間期 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)
売 上 高	6,888	6,954
売 上 原 価	5,736	5,473
売 上 総 利 益	1,151	1,480
販売費及び一般管理費	1,243	1,188
営 業 利 益	△ 91	292
営 業 外 収 益	105	94
営 業 外 費 用	38	28
経 常 利 益	△ 24	358
特 別 利 益	236	8
特 別 損 失	12	16
税引前中間純利益	199	350
法人税、住民税及び事業税	80	187
法人税等調整額	9	△ 31
中 間 純 利 益	109	194

中間キャッシュ・フロー計算書

(単位／百万円)

科 目	第63期中間期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	第62期中間期 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	569	949
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 996	△ 859
財務活動によるキャッシュ・フロー	219	115
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額	△ 207	204
現金及び現金同等物の期首残高	977	1,198
現金及び現金同等物の中間期末残高	770	1,403

中間株主資本等変動計算書

(単位／百万円)

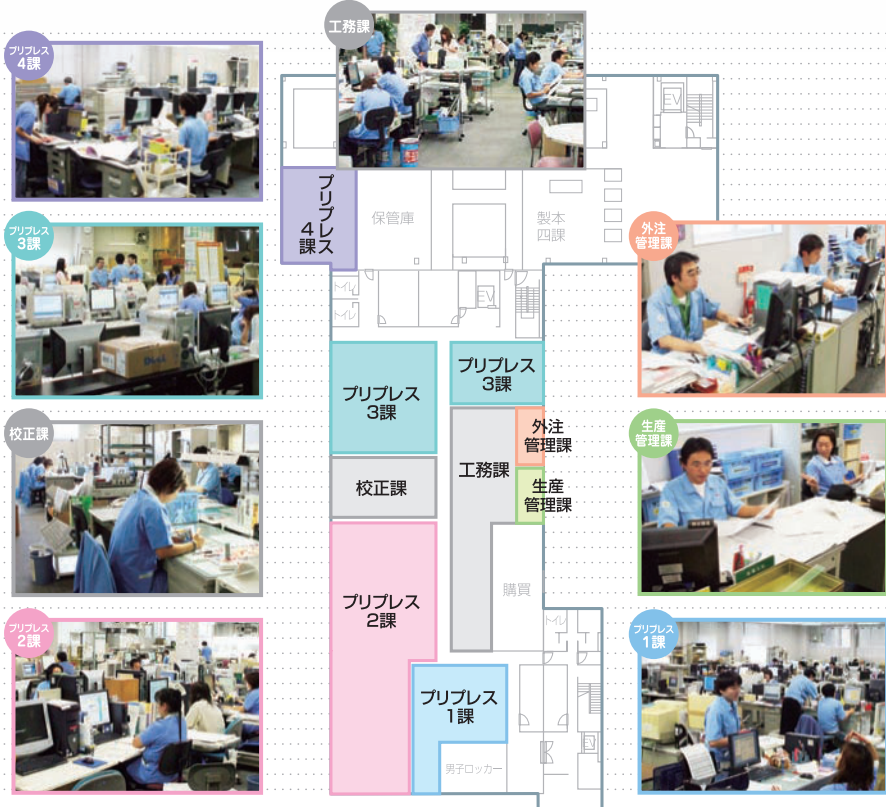
	第63期中間期 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)							第62期中間期 (平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)						
	株 主 資 本					評価・換算 差額等	純資産 合計	株 主 資 本					評価・換算 差額等	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計			資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計		
前 期 末 残 高	1,236	1,049	8,575	△ 404	10,455	1,032	11,488	1,236	1,049	8,345	△ 404	10,226	1,249	11,475
中間期中の変動額														
剰余金の配当			△ 60		△ 60		△ 60			△ 68		△ 68		△ 68
中 間 純 利 益			109		109		109			194		194		194
自己株式の取得				△ 0	△ 0		△ 0							
株主資本以外の項目の 中間期中の変動額(純額)						70	70						△ 200	△ 200
中間期中の変動額合計	—	—	49	△ 0	49	70	120	—	—	125	—	125	△ 200	△ 75
中 間 期 末 残 高	1,236	1,049	8,624	△ 405	10,505	1,103	11,608	1,236	1,049	8,470	△ 404	10,351	1,048	11,400



●本社工場と中工場の工務・プリプレス部門の統合

7月21日、22日の両日、中工場（大垣市荒川町）の工務課とプリプレス課が、本社工場（大垣市久瀬川町）4階に移動し、工務（工程管理）・プリプレス（印刷の前工程）部門の統合が行われました。この移動によって、当社の工務・プリプレス部門は本社工場に集約され、設備機器が今まで以上に効率的に稼働できるようになりました。また統合により、さらに適材適所に人員を配置することが可能となりました。

今後は、この統合により見えてきた問題点を見直し、精度の高い効率のよい作業方法に統一させ、さらなる生産性向上と合理化を図っていきます。



●京都府へ初進出と開発新部署の立ち上げ

7月に大阪支店のサテライトとして、当社11番目の営業拠点・京都営業所が新設され、業務を開始いたしました。京都府は、以前より当社大阪支店の営業エリアとして活動していましたが、新規顧客の開拓には地元根をとおし、積極的な営業展開が必要でありました。また、既存のお客様に対してもより密着したサービスの提供をすることによりさらなる信頼を得ることができるようになります。

京都市の中心地である中京区に拠点を置き、新規顧客の獲得、業務拡大を目指します。

〈京都営業所 住所〉 〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町558

三洋室町ビル402号室 TEL.075-213-7036

また、研究開発の専属部署として「研究開発課」を本社工場に立ち上げ、長期的な視野に立ち、これまでに当社が培ってきた印刷技術を応用しながら新規事業を模索していきます。



●FSC森林認証制度のCoC認証を取得

当社は、FSC※¹森林認証制度のCoC※²認証を取得しました。FSC森林認証制度は、2つのシステムから成り立っており、適切に管理されている森林に与えられるFM※³認証と、その森林から伐り出された木材が、加工・流通の段階においても、他の木材と混ざることなく管理されていることを認証するCoC認証があります。

FSC認証マークの入った印刷物は、環境、社会、経済の全ての側面に配慮した厳しい基準に従い、適切に管理された森林から出されたことを示しており、森林認証紙は、森林認証を受けた企業だけが使用できます。紙をFSC認証マーク入りにすることで、森林破壊を防ぎ、健全な森林の育成を支援することになります。当社では、FSC認証紙を使用することによって環境保護への取り組みにも積極的に参加していきます。

※¹ Forest Stewardship Councilの略（森林管理協議会）

※² Chain of Custodyの略（管理の連鎖）

※³ Forest Managementの略（森林管理）

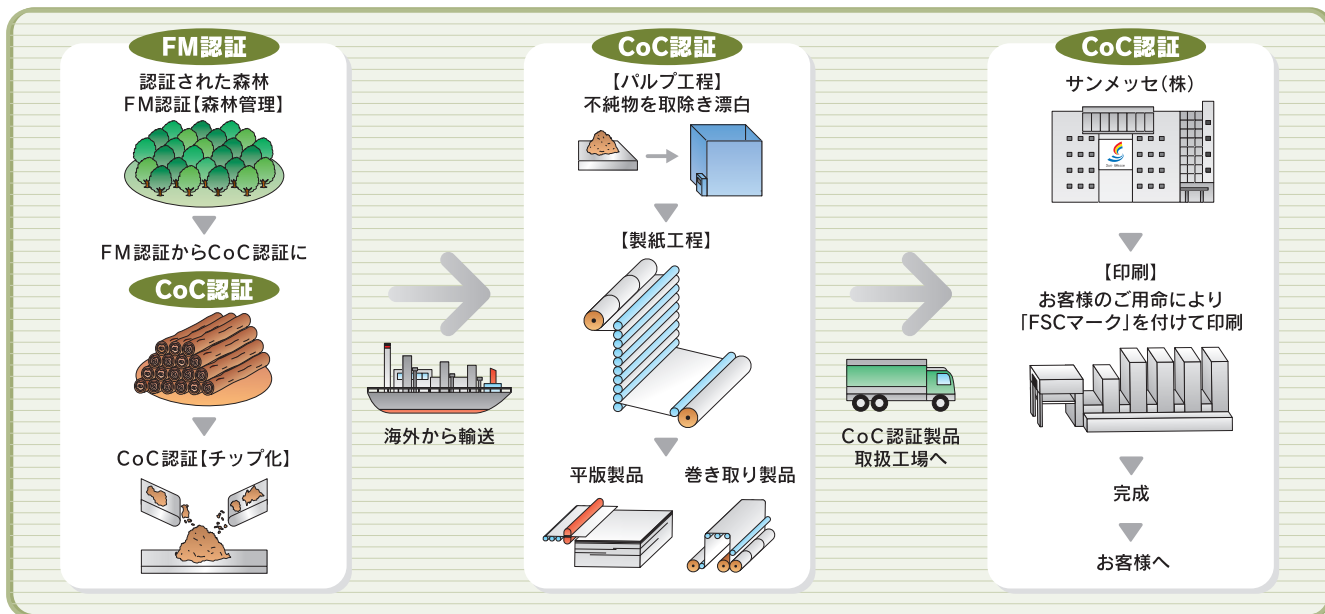


認定証



FSCマーク見本

印刷物ができるまでの工程



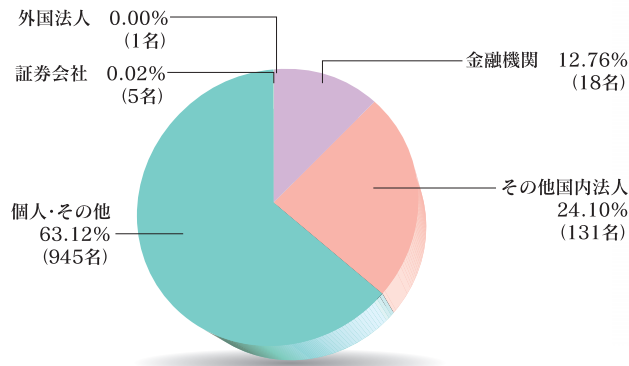


株式の状況 (平成19年9月30日現在)

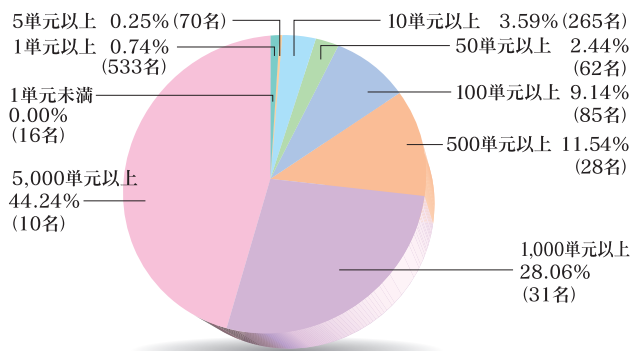
①発行可能株式総数	60,000,000株
②発行済株式の総数	17,825,050株
③株主数	1,100名

株式分布状況

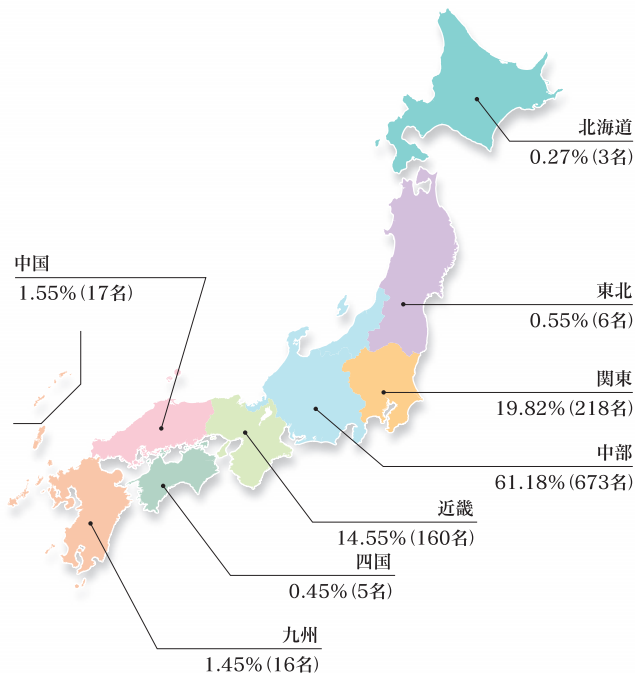
所有者別株式分布状況 (株式数比率)



所有数別株式分布状況 (株式数比率)

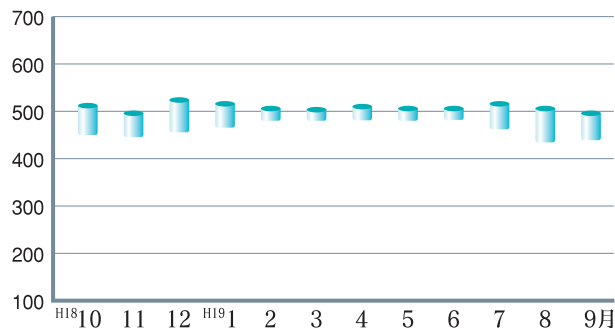


地域別株主数 (株主数比率)



(注) 1.その他に外国1名(0.09%)・保管振替機構名義株式が1名(0.09%)あります。
2.比率は小数点以下第三位を四捨五入しております。

株価推移 (単位/円)





Report 会社の概況

会社概要（平成19年9月30日現在）

商 号 サンメッセ株式会社
設 立 昭和21年9月20日
資 本 金 1,236,114千円

主要な事業内容

一般商業印刷を中心に出版印刷、包装印刷を営む総合印刷会社。
得意先の希望する印刷物を企画、デザイン、製版、印刷、製本のみならず、トムソン加工、製袋、表面加工等に至るまで設備を装備し一貫生産。またWebサイトやDVDなどのコンテンツ制作、デジタルアーカイブ作成等、マルチメディア製品の企画開発。

本社および事業所

本 社 岐阜県大垣市久瀬川町7丁目5-1
支 店 東 京 支 店(東京都江東区)
赤 坂 支 店(東京都港区)
大 阪 支 店(大阪市中央区)
名古屋支店(名古屋市中区)
岡 崎 支 店(愛知県岡崎市)
愛 岐 支 店(愛知県一宮市)
岐 阜 支 店(岐阜県岐阜市)
三 重 支 店(三重県桑名市)
滋 賀 支 店(滋賀県彦根市)
営 業 所 京都営業所(京都市中京区)
研 究 所 サンメッセ情報館(岐阜県大垣市)
工 場 本社工場(大垣市)・中工場(大垣市)・西工場(大垣市)
系列会社 日本イベント企画株式会社(岐阜県岐阜市)

従業員の状況

従業員数	前中間期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
731名	2名減	35.9歳	14.7年

(注)上記の従業員数には、他社への出向者15名、嘱託25名、パート159名は含まれておりません。

主要な借入先（単位／百万円）

借入先	借入額
株式会社大垣共立銀行	900
株式会社十六銀行	300
株式会社三菱東京UFJ銀行	200
株式会社みずほ銀行	200

役員

取締役会長 ※田 中 良 幸
取締役社長 ※田 中 勝 英
取締役副社長 ※田 中 義 一
取締役 浅野 宣 久 常務執行役員監査室長
取締役 木 村 伸 男 執行役員製造本部長
取締役 松 井 巖 執行役員営業本部長 兼 本社営業部長
取締役 長 井 芳 郎 執行役員営業副本部長 兼 名古屋営業部長
取締役 水 谷 和 則 執行役員営業副本部長 兼 営業開発部長
取締役 田 中 尚 一 郎 執行役員東京営業部長
常勤監査役 吉 野 鉦 城
監査役 藤 塚 清 治 税理士
監査役 加 藤 文 夫 税理士
監査役 伊 藤 暁

※は、代表取締役であります。

株主メモ

事 業 年 度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月下旬
定時株主総会基準日 毎年3月31日(議決権行使株主確定日)
期末配当基準日 毎年3月31日
中間配当基準日 毎年9月30日
公 告 方 法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
* 公告掲載のホームページアドレス
<http://www.sunmesse.co.jp/>
株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所 名古屋市中区栄三丁目15番33号(〒460-8685)
中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店
0120-78-2031(フリーダイヤル)
同 事 務 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
日本証券代行業株式会社 本店及び全国各支店

(お知らせ)

・住所変更、名義書換請求、単元未満株式買取請求、配当金振込指定に必要な用紙のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル及びインターネットのホームページで24時間受付しております。
○受付フリーダイヤル 0120-87-2031(24時間受付:自動音声案内)
○ホームページアドレス
http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

Customer (顧客)・Development (開発)

当社は、平成19年度の会社方針を「責任製品で『顧客開発の年』」としております。

●ホームページのご案内

サンメッセのホームページでは、企業情報などに関する詳しい情報をご覧いただけます。IR情報(投資家様向け情報)にも、ダイレクトでアクセスできますので、こちらもどうぞご利用下さい。

サンメッセ・ホームページアドレス
<http://www.sunmesse.co.jp/>

トップページ

<http://www.sunmesse.co.jp/>



IR情報サイト

<http://www.sunmesse.co.jp/ir/index.html>



Sun Messe

人・物・情報を集積・発信 印刷を核に、情報社会に貢献します

サンメッセ株式会社



JQA-EM1779
本社・本社工場
中工場・西工場



JQA-QM3742
本社工場
中工場・西工場



環境にやさしい大豆油
インキを使用しています。



環境にやさしい水なし平版
印刷を採用しています。